



第48期 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第48期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

経営環境

当連結会計年度における世界経済としては、ユーロ圏諸国においては内需が堅調に推移したものの、英国のEU離脱問題が懸念材料となり、輸出の伸び悩みによって成長率が鈍化いたしました。また、中国経済も個人消費の落ち込みや設備投資の停滞等により、成長率が鈍化いたしました。しかしながら、米国では良好な雇用環境や企業収益の改善などを背景に、着実な回復が続いたことにより、世界経済全体としては、総じて緩やかな回復が見られました。

わが国経済を見ますと、良好な企業収益や雇用環境を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、年度後半より米中貿易摩擦の影響等により、成長ペースが弱含みとなり、先行き不透明感が強まる状況となりました。

通期連結業績

当社グループでは、FA（Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）装置及びロボット関連機器等にも使用される当社主力製品『アルファフレーム®システム』の売上高が、順調に推移いたしましたが、前連結会計年度まで極めて好調であった有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造設備関連企業からの受注は、設備投資に一時的な調整局面を迎えたことにより、前年の水準を下回る状況となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、8,715百万円（前期比94.1%）、営業利益は、738百万円（前期比71.7%）、経常利益は746百万円（前期比72.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は、492百万円（前期比70.8%）となりました。

配当金

当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、

経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく設備投資や研究開発活動に充当する予定であり、資金を有効に活用して企業価値向上を図っていく方針であります。

これらの方針に基づき、1株あたり中間配当金19円、期末配当金20円、年間配当金として39円とさせていただきます。

なお、今後とも株主の皆様のご支援に報いるよう、事業の発展に努めてまいります。

今後の見通し

当社グループは、業容拡大を図るべく2015年度を起点とした2016年度から2020年度までの5年間の中長期経営計画として「倍増計画」を掲げ、当該計画達成に向けた様々な施策を展開・遂行し、達成できると見込んでおります。

この「倍増計画」では、『製造業の品質向上と合理化に貢献』を当社グループのミッションとして掲げ、フレキシブルな構造体モジュールであるアルファフレームシステムを基本に、高度で高効率な装置製作に取り組んでいくことを方針としております。この方針のもと「倍増計画」では、業容拡大として生産設備及び人員等を倍増することによって生産量の拡大を図り、業績を上げる計画であり、具体的な業績数値としては、連結売上高100億円以上、営業利益10億円以上を目指すものです。この計画に沿って、アルファフレーム部門と装置部門の業容拡大を図るべく、2017年度には、益々ニーズが高まる自動化・省力化装置等、FA装置製作に特化した新工場として、富山県内に立山事業所を新設いたしました。また、主に関東地区を中心とした東日本エリアのお客様からのニーズに迅速にお応えできる体制強化として、埼玉県内にアルファフレームシステムの出荷業務を担うアルファフレーム北関東を開設いたしました。

さらに、様々なニーズが旺盛な東海地区においては、FA装置等の製作のみならずアルファフレームシステムの出荷業務も担う新たな工場として愛知県清須市内に愛知

事業所の建設を計画し、2019年9月の稼働開始に向けて建設工事を進めております。なお、このような設備投資によって、生産環境の整備に注力するとともに、有能な人材の採用と育成も優先課題として捉え、その積極的な推進にも注力しております。

以上のような施策を展開している中、2016年度及び2017年度では、FPD関連企業からのニーズが極めて高く推移したことにより、アルファフレーム部門の売上高は大きく伸ばいたしました。2018年度に入ってからFPD関連企業において、また年度後半からは半導体関連企業において設備投資の一時的な調整局面を迎えており、この状況が2019年度前半も継続すると予測されておりますが、年度後半からは回復傾向になると見込まれております。

その一方で、アルファフレーム部門における他分野からの受注は年々増加しており、その売上高は過去3年間で約5割増加しております。

また、自動車関連企業では次世代の自動車開発に向けて研究開発費用が増加されているとともに、生産設備についても、生産効率及び品質を高める仕組みについて積極的な検討がなされております。当社グループの装置部門では、このようなお客様のニーズを的確に捉えることによって、得意とする自動車部品の洗浄装置や検査装置等、FA装置等の受注拡大を図れると見込んでおります。

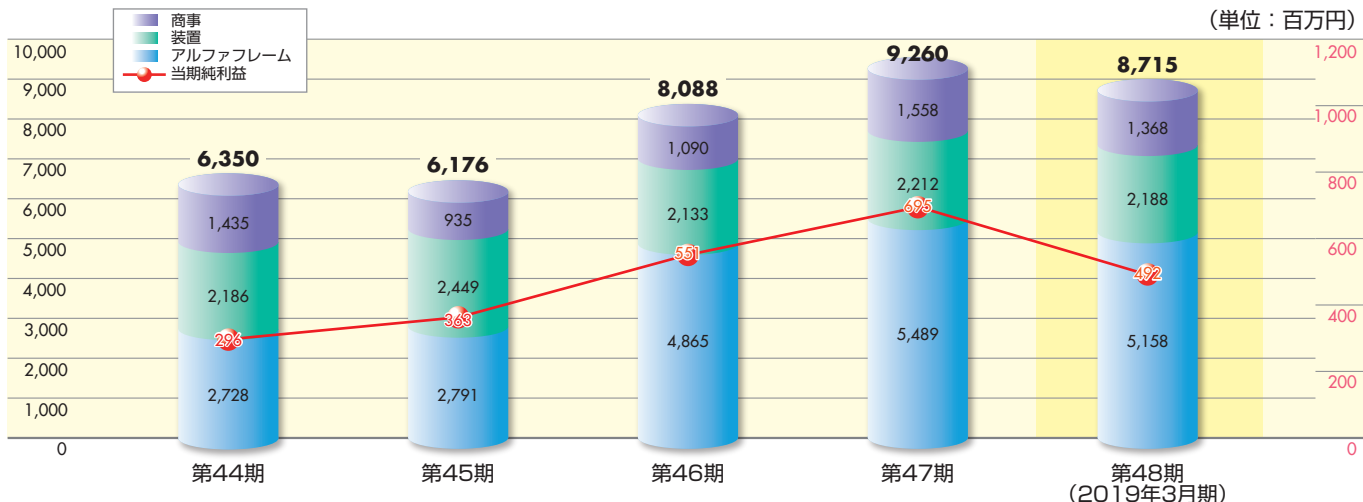
以上より、新たな愛知事業所の稼働により生産体制の整備はさらに進み、両部門の受注拡大に繋がるものと見込んでおります。なお、設備投資や人員増強等による固定費の増加が一時的に利益を圧迫いたしますが、これらの投資は「倍増計画」の達成及びその後の成長に必要な投資と位置付けております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役会長 CEO 西川 浩 司

業績推移



(注) 当社は、第45期より連結計算書類を作成しております。上記の業績数値に関しましては、比較有用性の観点から第45期以降のセグメント別売上高と、第44期のセグメント別売上高との増減比較の推移を表示しております。従いまして、第45期以降の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

事業の内容(3部門)

地球環境にやさしくリサイクル性に優れたアルミ構造体『アルファフレーム®システム』の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。

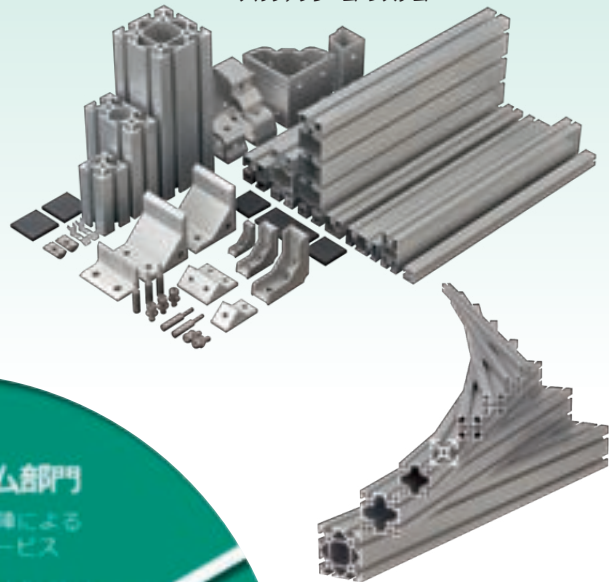
『アルファフレーム®システム』の特長を活かし、各種工場で使用されるFA装置(洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置)及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。

上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。

これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。

ALFA FRAME® SYSTEM

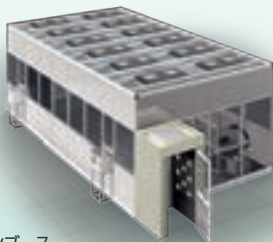
アルファフレーム®システム



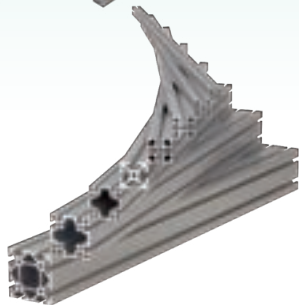
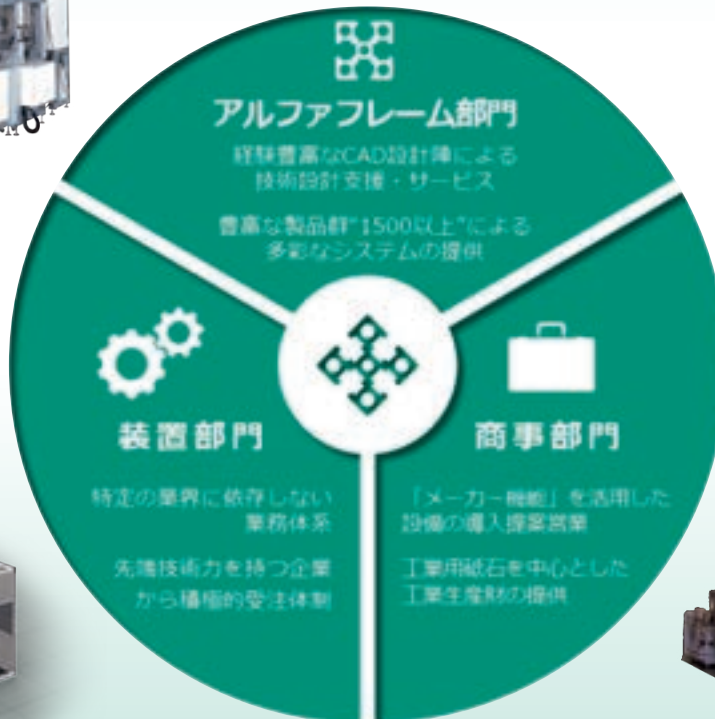
折り曲げ装置



カップ式洗浄装置



クリーンブース



工業用砥石



工作機械

アルファフレーム部門

日本の自動化装置業界で長年の実績を持つ“アルミ構造体モジュール & システム”『アルファフレーム®システム』は、多種のアルミニウムプロファイルとその接続ブラケット及びアクセサリーパーツで構成された機械構造用アルミニウム合金製フレームです。各種装置の筐体やカバーを製作するための最適なプロファイル、パーツを揃えております。

お客様の設計効率を高める「カクチャ™」、組立に必要な情報をフレームにプリントする「マーキングシステム™」、「ナット付フレーム」などのサービス拡充により、アルファフレーム®システム導入の促進に貢献いたしております。

Automobile
Semiconductor / FPD / Clean
Microelectronics / Machine
Pharmaceutical / Food

自動車
半導体・液晶・グリーン関連
電子・精密機械
薬品・食品

【アルファフレームの優れた特長】

① 充実した製品群

幅広い製品ラインナップで、お客様のあらゆるニーズにお応えいたします。

② 仕様変更等も容易

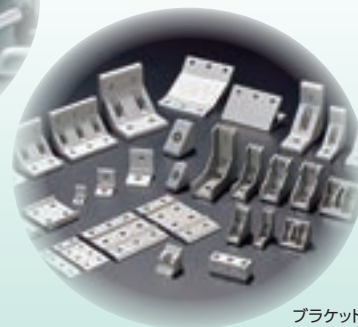
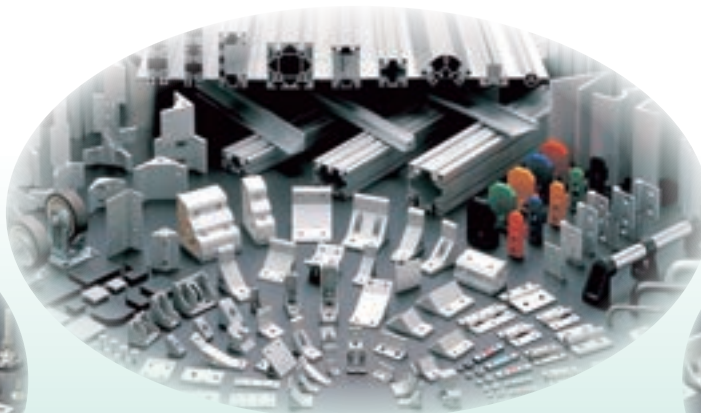
急な設計変更や将来の増設にも容易かつ柔軟に対応することが可能です。

③ 幅広い分野に適応

機器取付部材の材料、作業台や棚などの工業用品、多彩な分野で使用されております。



アクセサリー



ブラケット

ALFA FRAME® SYSTEM

装置部門

新たな分野へ積極的に参入することでノウハウの蓄積を行い、半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じたFA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置）及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。

『アルファフレーム[®]システム』を基本部材として使用することにより、各種装置製作の効率化や短納期化が可能となります。また、仕様を規格化した製品のみならず、生産ライン構築の個別ニーズに対応した様々な製品開発も行っております。

カップ式洗浄機NCシリーズ

簡易ブロー機 / CRM300



上部投入タイプ / NCU211



ロータイプ / NCL215



ロータリーテーブルタイプ / NCR215



FA関連装置

折り曲げ装置



パレタイズ装置

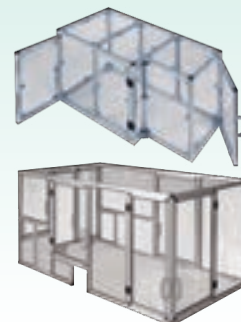


架台／カバー

装置筐体



マシンカバー



クリーン関連

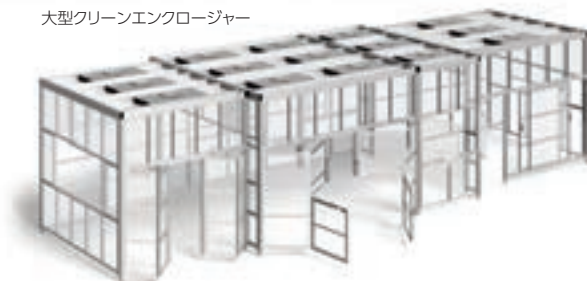
スタンダードクリーンブース



ハードウォール型クリーンブース



大型クリーンエンクロージャー



商事部門

工業用砥石、工具・ツールなどの消耗品と生産機械設備を提供いたしております。

工業用砥石、やすり、工具・ツールなどの消耗品は、リピート受注が多いことが特長となっており、この安定した消耗品関係ビジネスが、当社の安定的な収益にも大きく貢献いたしております。また、装置部門との連携によりFA装置等を活用した機械設備(生産ライン)の導入提案を行い、多種多様なお客様のニーズにお応えする製品を提供いたしております。



工業用砥石



油脂類



工具・ツール

トピックス (New Lineup)

用途に合わせた規格品「アルファ・キット」

ALFA Kit

手軽で
安心

設計
不要

強度計算
不要

短納期
対応

簡単
組立



性能と利便性を両立した装置メーカーの「小型ロボット専用アルミ架台」

産業用ロボット架台の課題を克服した「アルミ製ロボット架台」を規格化し、新たな商品としてラインナップいたしました。安全性はもちろん、スチール同等の強度と剛性を確保した最適設計で、高速ロボットの性能を確実に支えます。ロボットの設置、治具やワークの取り付けも容易で、煩雑な設計や加工・溶接も不要です。部品の取付位置が誰でもわかる、NIC独自の「マーキングシステム™」で、組立作業時間を大幅に削減します。

産業用ロボット架台 FCシリーズ

規格品



AK-R-FC07-1000

垂直多関節ロボット
7Kg可搬以下用

標準品



AK-R-FCS03

水平多関節ロボット
3Kg可搬以下用

カスタム品 フルオーダー



天吊り用



連結架台

協働ロボット架台 FKシリーズ

標準品



AK-R-FK07

協働ロボット7Kg
可搬以下用架台



AK-R-FKS05

協働ロボット5Kg
可搬以下用
スタンド型架台



AK-R-FKT10

協働ロボット10Kg
可搬以下用架台

セミオーダー



AK-R-FK10

協働ロボット10Kg
可搬以下用架台
(サイズ変更可)

倍增計画

2016年度から2020年度までの5ヵ年を期間とする中長期経営計画として、その最終連結会計年度における売上高・事業の規模を倍增する計画。

第I弾

2016年8月 海外子会社への増資

今後、自動化の波が高まることが予測されるASEAN地域に対し、NIC Autotec(Thailand)Co.,Ltd.をハブとして、事業展開を図る。



NIC Autotec(Thailand)Co.,Ltd.

第II弾

2017年7月 立山事業所の新設

グローバルに事業を展開するお客様のニーズにお応えするため、開発のスピードアップと製造能力の大幅な増強として、立山事業所を新設。FA装置(FA:Factory Automation[自動化・省力化装置]をいう。)等の設計・製作を主体としてスタートし、装置事業の重要な拠点とする。



立山事業所



アルファフレーム北関東

第III弾

2017年7月 北関東出荷センターの開設

益々需要が高まる『アルファフレーム®システム』をお客様のお手元へいち早くお届けできるよう出荷センター(名称アルファフレーム北関東)を開設。本出荷センターは、関東を中心とした東日本のお客様へのサービス向上、及び海外のお客様からのニーズにも迅速にお応えできる体制構築の一環。



富山本社/流杉工場

第IV弾

2018年3月 富山本社移転

管理部門と生産部門の更なる連携強化による業務効率化を図るべく、2018年3月に流杉工場へ移転。

第V弾

2019年9月 愛知事業所新設

東海地区のお客様へのサービス向上及びさらなる受注拡大を図るため、FA装置等の製作のみならず、『アルファフレーム®システム』の出荷業務も担う工場として、愛知県清須市内に新工場(愛知事業所)建設中。2019年9月稼働開始予定。



愛知事業所 完成予想図

連結貸借対照表 (2019年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額
資 産 の 部		
流 動 資 産		5,355,137
固 定 資 産		2,847,978
有 形 固 定 資 産		2,456,025
無 形 固 定 資 産		53,138
投 資 そ の 他 の 資 産		338,814
資 産 合 計		8,203,116
負 債 の 部		
流 動 負 債		2,523,728
固 定 負 債		847,890
負 債 合 計		3,371,619
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		4,757,703
資 本 本 金		156,100
資 本 剰 余 金		145,608
利 益 剰 余 金		4,490,730
自 己 株 式		△34,735
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額		73,534
非 支 配 株 主 持 分		259
純 資 産 合 計		4,831,497
負 債 及 び 純 資 産 合 計		8,203,116

連結損益計算書 (2018年4月1日～2019年3月31日) (単位：千円)

科 目		金 額
売 上 高		8,715,190
売 上 原 価		6,727,835
売 上 総 利 益		1,987,354
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,249,116
営 業 利 益		738,238
営 業 外 収 益		18,951
営 業 外 費 用		10,478
経 常 利 益		746,710
特 別 利 益		47,978
特 別 損 失		24,533
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		770,155
法 人 税 等		277,936
当 期 純 利 益		492,218
非 支 配 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益		△153
親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益		492,371

連結株主資本等変動計算書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本				そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額					非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計			
当 期 首 残 高	156,100	145,608	4,227,201	△ 34,723	4,494,186	120,618	16,618	137,237	410	4,631,834	
当 期 変 動 額											
剰 余 金 の 配 当			△ 228,842		△ 228,842					△ 228,842	
親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益			492,371		492,371					492,371	
自 己 株 式 の 取 得				△ 11	△ 11					△ 11	
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)						△ 65,044	1,340	△ 63,703	△ 151	△ 63,854	
当 期 変 動 額 合 計	—	—	263,528	△ 11	263,517	△ 65,044	1,340	△ 63,703	△ 151	199,662	
当 期 末 残 高	156,100	145,608	4,490,730	△ 34,735	4,757,703	55,574	17,959	73,534	259	4,831,497	

会社の概要 (2019年3月31日)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	1971年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	連結251名 (単独242名)
事業所	
本社 / 流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉255番地
東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
立山工場	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越 398番地176
立山事業所	〒930-0221 富山県中新川郡立山町前沢 2178番地1
愛知事業所	〒458-0801 愛知県名古屋市長区鳴海町 母呂後185番地
アルファフレーム北関東	〒367-0247 埼玉県児玉郡神川町元阿保 309番地
アルファフレーム関西	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西 二丁目4番29号
アルファフレーム九州	〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町 一丁目2番地

海外子会社
NIC Autotec (Thailand) Co., Ltd. タイ王国サムットプラカーン県

役員構成 (2019年6月22日現在)

代表取締役会長	CEO	西川浩司
取締役社長		西川武
取締役副社長		西尾謙夫
常務取締役		土山邦夫
常務取締役		野村良一
社外取締役		小池茂雄
常勤監査役		藤島敏夫
社外監査役		土屋重義
社外監査役		白石康広

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビル

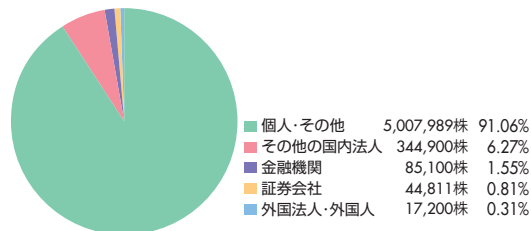
株式の状況 (2019年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 20,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 普通株式5,500,000株
(自己株式51,381株を含む)
- (3) 株主数 2,204名
- (4) 大株主の状況

株主名	持株数
西川浩司	3,704,900株
三協立山株式会社	202,500株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	110,800株
近藤雅介	78,000株
ダイド一株式会社	70,000株
株式会社三井住友銀行	50,000株
西川武	50,000株
植田潤次郎	45,000株
中村隆一	37,400株
水間隆二	36,200株

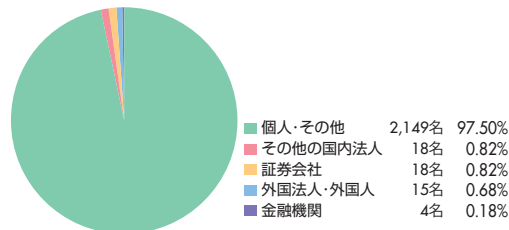
(注) 上記大株主のほか、当社は自己株式51,381株を保有しております。

(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式51,381株は、「個人・その他」に含まれております。

(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

証券コード	5742
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【公告の方法】

当社のホームページに掲載いたします。

〈 <http://www.nic-inc.co.jp/> 〉

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

【上場金融商品取引所】

東京証券取引所 JASDAQスタンダード

※株式に関するお手続きについて

1. 配当金受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申出先について
 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引のある証券会社にお申し出ください。
2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ ホームページのご案内

- 当社の詳細情報はホームページをご覧ください。

エヌアイシ

検索

<http://www.nic-inc.co.jp/>

- アルファフレーム®の当社直販サイト

<http://www.nic-direct.jp/>



エヌアイシ・オートテック株式会社



富山本社 / 流杉工場

〒939-8032 富山県富山市流杉255番地 TEL 076-425-0738